



No. 240

1

7

- おもな内容
- この夏イベントが楽しい ②③④
 - 参議院選挙7月23日 ⑤
 - 文化のまちへ ⑥⑦
 - 子どもは見ています町民会議 ⑧⑨⑩
 - オランダからシイタケ留学 ⑫⑬
 - はなしのひろば ⑭⑮
 - まちかど ⑯⑰
 - お知らせ ⑱⑲

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷 KK



水と緑の オープン スペースで

= 町民の大イベント =

8月13日、この川辺漕艇場で町民参加のボート、カヌー大会「川辺町マリンスポーツカーニバル」が開催されます。

前日からは「川辺おどり」のイベントが行われ、夜は「大花火大会」。この川辺の水と緑のオープンスペースを利用した大イベントに町民の期待も大。

大会に中学生の部で出場予定の川辺中ボート部が、今、練習に励んでいます。

■ 人口の動き=5月末(カッコ内は前年同月比) 総人口 10,764人(+162) 男 5,290人(+87) 女 5,474人(+75) 世帯数 2,877戸(+62)

マリンスポーツカーニバル

8月12日～13日

川辺の夏の風物詩 ホー
トと川辺おどりのイベント
がこの夏に、始まります。
昨年の東アジア漕艇国際大
会が、町民漕艇大会という
形に変わり、まさに町民の
イベントとして、川辺おど
りとともに始まるのです。
広報かわべでは、イベント
の中心となつて企画されて
いる川辺おどり運営委員長
の横関昭彦(西二)さん、川辺
町マリンスボーソカーニバ
ル副運営委員長の佐伯五生
(西四)さんのお二人に、今年
の見どころなどをお聞きし
ました。

「川辺の夏」と題してイメージするものは何ですか。

県下でも類のない

竹での打ち上げ花火



横関昭彦さん(商工会青年部長)

——はじめに、川辺おどりの特徴はどういうものかお聞かせください——

横関 川辺おどりは、県下でも類のない筏で打ち上げ花火をステレオ方式で行うわけで、これが飛騨川の水面に映り、とてもすばらしい光景をつくり出しています。また、イベント広場で

は、青少年の健全育成を目指し
町民ふれあいの場として十三年
間実施してきました。夏の一大
イベントとして楽しんでいただ
ければと考えています。

トルという、水辺レクリエーションの宝庫という感じです。昨年開催された国際大会で、そのイメージが高まつたわけですが、今年はこれを、従来のカヌー、ヨット、カッター、ウインドサーフィンとあわせて、ボートを町民のスポーツとしようとするのがねらいです。

佐川辺町マリンスポーツパーク
カーニバルは、実際には、四回
目を迎える川辺町カヌー大会と
今年初めて開催する町民漕艇大
会を同時に開くというものです。
川辺のダム湖は全国でも類を見
ない水と緑のオープンスペー
スが広がっています。水位変動
は一メートル内外で、流速も静
水に近い、また直線で二千メー

この夏、ハイバンドが楽しい
川辺の夏、それはポートと川辺おどり

●祭典プログラム●

12日 土

- 18:30 開会式・テープカット
保育園児（第一保育園）鼓笛隊
ミニ商店街オープン
(~22:30)
- 19:00 川辺太鼓披露【中央ステージ】
(~19:30)
- 19:45 光と音の祭典「花火大会」
(~20:30)
- 20:30 飛龍太鼓披露【中央ステージ】
(~21:00)
- 川辺おどり (~22:30)

13日 日

- 8:30 マリンスポーツカーニバル開会式
【漕艇場】
- 9:00 競技開始
- 11:00 こども広場
カルガモコンボイ、フワフワSL、
射的コーナー、昔の遊び手作りコ
ーナーなど (~18:50)
- ミニ商店街オープン (~22:30)
- 11:30 餅投げ
- 12:00 歌謡ショー 木下由里子
(~12:30)
- 13:00 高速戦隊 ターボレンジャー
(~13:50)
- 14:30 お笑いステージ ピンクの電話
(~15:00)
- 16:30 お笑いステージ ピンクの電話
歌謡ショー 木下由里子
(~17:30)
- 18:00 高速戦隊 ターボレンジャー
(~18:50)
- 19:00 飛龍太鼓披露 (~19:30)
- 19:30 川辺おどり (~22:30)

川辺おどりと



▲夜はおどりで熱気につつまれる（昨年）

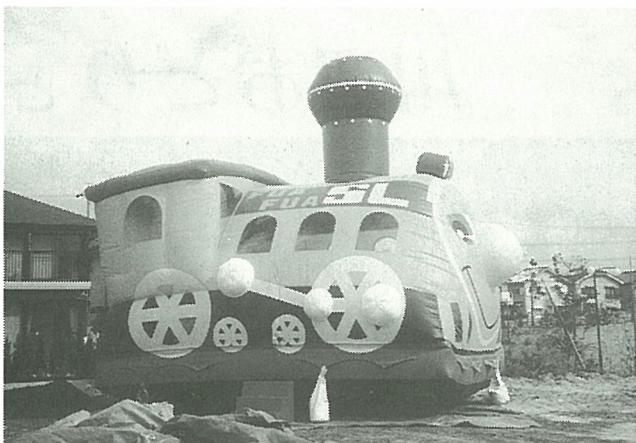
カヌー、ヨットの利用は年々増加の傾向にあると聞きますが、ボートとなると、やはりいまだ町民のスポーツというイメージ

カヌー・ヨットとあわせて 漕艇を町民のスポーツに



佐伯五生さん（町体育指導委員長）

横関 今年は、子どもたちにどう楽しんでもらおうかと企画に苦労しました。テレビで放送している高速戦隊ターボレンジャーのキャラクターと、カルガモコンボイ、フワフワSLなど用意しました。また町連合福寿会の皆さんにお願いして、昔の遊び「手作りコーナー」をつくり、子どもと親、そしてお年寄りの皆さんのが楽しく遊べる場を計画しています。



▲子どもに人気のフワフワSL



▲高速戦隊ターボレンジャー



▲音と光の祭典・花火大会（昨年）



▲カヌーにあなたも挑戦

——カヌーやボートの大会に対しての町民の皆さんの反応はどうですか——

佐伯 カヌーは例年どおり多くの参加希望があります。ボートは、今年初めてということもあります。ボートの参加希望はまずまずというところです。しかし、ファミリーチームで参加しようというところもあり、これからが楽し

みです。

——それでは最後に川辺おどり、ボート、カヌーで参加申し込みます。それでは最後に川辺おどり終了まで楽しんでいただけます。

——二日間はいろいろなイベントを企画しておりますので川辺おどり終了まで楽しんでいただけます。

——カヌーやボートの大会に対してありました。親子で体験するなど気軽に利用できます。

——横関 横関 八月十二日の花火大会は午後七時四十五分からです。

——これは忘れないようにお願いします。それからミニ商店街での食べ歩き、買い物歩き、そして歌謡ショー、お笑いステージですね。

——今年の夏のイベントがよくわかりました。また川辺が楽しくなります。日曜日に、親子で体験するなど気軽に利用できます。またボートは、町内の人々に気軽に利用していただきたい。そして楽しんでもらいたい。

——利用については川辺漕艇場の管理人に申し出てください。今、スポーツ教室としてボート教室を行っていますので、これを利用していただくのが初心者には近道だと思います。

——ありがとうございます。

家族が一緒になつて 心がふれあうイベントに

「行きました？

これがあいさつ 選挙の日」

七月二十三日(日)は

参議院議員通常選挙の投票日です

今回の参議院議員通常選挙は今後の国政を決める重要な意義をもつ選挙です。候補者の政見などを、よく見、よく聞き、よく考えて、きれいな選挙で立派な代表を選ぼう。

なお今回の選挙も政党または政治団体に投票する比例代表選出議員選挙と候補者個人に投票する選挙区選出議員選挙で行われます。

今回の選挙について、一般的な注意事項は次のとおりです。

【有権者】 昭和四十四年七月二十四日までに生まれた人で、平成元年四月四日以前から本町に住民登録のしてある人。

【投票】 午前七時から午後六時まで。入

場券に記載してある投票所で投票を行ってください。町内で住所移転（転居）された人で七月四日以降に投票場へ届出された人は、前に住んでいた投票所でないと投票ができませんので注意してください。

【代理投票】 目や手が不自由なため自分で字が書けない人は代理投票を申請することができますので投票所で係員に申し出てください。

【不在者投票】 投票日に仕事で出張が決

まっていたり、出産などのために投票所へ行けない人は不在者投票ができます。

不在者投票は、投票日に投票所へ行けない理由を宣誓書に記入すればできます。この場合は印鑑が必要です。不在者投票ができるのは、七月五日から同月二十二日までの午前八時三十分から午後五時まで。場所は役場三階図書室で行っています。

【郵便による不在者投票】 体に重度の障害があり歩行困難な人は郵便で投票ができます。郵便

による不在者投票が認められるのは①身体障害者手帳に両下肢、体幹の障害、移動機能の障害なら一級もしくは二級、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこうもしくは直腸もしくは小腸の障害なら一

級もしくは三級であると記されている人②戦傷病者特別援護法に記載してある「参観者心得」に従って秩序を乱さないようにしてください。

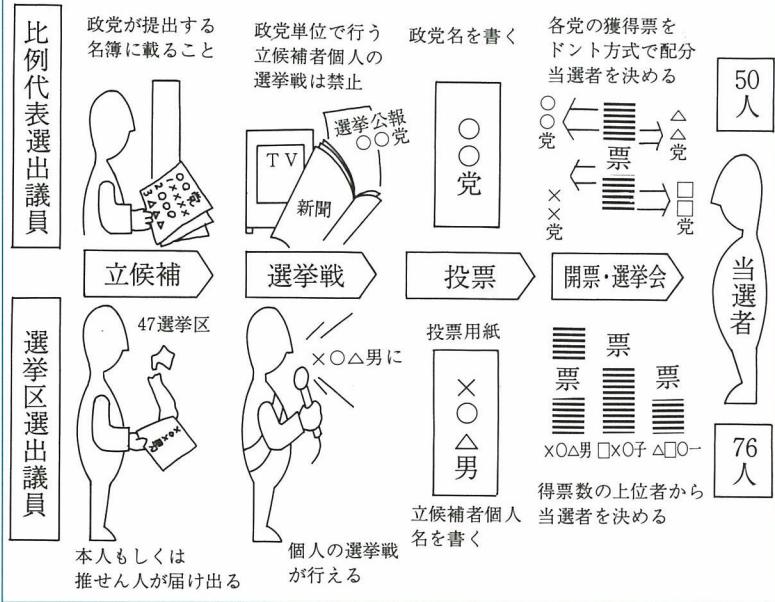
症から第三項症までと記載され

ている人です。
投票用紙などの請求手続きは、七月十九日までに行ってください。

【開票】 投票当日の午後七時から中央公民館大ホールで行います。開票を参觀する人は、会場

に掲示してある「参観者心得」に従って秩序を乱さないようにしてください。
投開票に関する詳しいことは、町選舉管理委員会事務局（役場総務課）電話53-2511（代）までお問い合わせください。

参議院選挙の仕組



川辺町文化協会(加藤賢会長)の「春の文化祭」が五月二十一日に中央公民館で開かれました。会長からは「協会の知恵を出し合い、総力あげてこの文化祭に取り組みました。一年間の活動の成果を楽しんでください」とあります。来賓からも「文化の発展は川辺町発展のバロメーター」と同協会の発展を願うとあります。

この文化祭の中心となつた芸能部の発表はホールで行われ、

自慢の芸、次々披露

川辺町文化協会(加藤賢会長) 民踊、日舞、太鼓、コーラス、詩吟、大正琴など四十余人のプロによる公演で開かれました。会長からは「協会の知恵を出し合い、総力あげてこの文化祭に取り組みました。一年間の活動の成果を楽しんでください」とあります。来賓からも「文化の発展は川辺町発展のバロメーター」と同協会の発展を願うとあります。

この文化祭の中心となつた芸能部の発表はホールで行われ、

川辺町文化協会(加藤賢会長) 民踊、日舞、太鼓、コーラス、詩吟、大正琴など四十余人のプロによる公演で開かれました。会長からは「協会の知恵を出し合い、総力あげてこの文化祭に取り組みました。一年間の活動の成果を楽しんでください」とあります。来賓からも「文化の発展は川辺町発展のバロメーター」と同協会の発展を願うとあります。

川辺町文化協会(加藤賢会長) 民踊、日舞、太鼓、コーラス、詩吟、大正琴など四十余人のプロによる公演で開かれました。会長からは「協会の知恵を出し合い、総力あげてこの文化祭に取り組みました。一年間の活動の成果を楽しんでください」とあります。来賓からも「文化の発展は川辺町発展のバロメーター」と同協会の発展を願うとあります。

自慢の芸、次々披露



▲「楽しい1日に」と会長のあいさつ



▲自慢の芸を披露する出演者の皆さん

(中央公民館大ホールで)

お年寄り約五十人が招待され、多くの町民の皆さんとともに楽しい一日を過ごしました。

また、この日の昼食は、川辺町食生活改善推進協議会(加納奈加子会長)の協力で、招待したお年寄り、スタッフ分約百五十食を早朝から準備しました。企画、内容ともに細かな配慮がされ、まさに総力あげて取り組んだ「春の文化祭」でした。



▲楽しい1日を過ごす参加者(中央公民館大ホール)

文化のまちへ 総力あげて 知恵を出し合つた

文化協会

《カメラルポ》



▲照明・音響はすべてここで調整（調整室）



▲受付けでの最終打ち合わせ



◆出演前の控室のようす

スタッフ・参加者の横顔



▲お茶の準備を進める



◆展示作品に見入る



▶毎の休憩 食事を楽しむ
◀早朝から昼食の準備（食改協）



見ています

青少年育成町民会議総会

大人のうしろすがた



▲話し合いに熱の入る地区活動部会

この部会のテーマは、地区ふれあい集会とクリーン作戦（清掃活動、花いっぱい運動）の実施でした。これは地域で子どもたちを育てるという点で、具体的な活動であり、町民会議として、重要なテーマとなっていました。

この活動は過去の調査から、住民の約半数が何らかの形で参加しており、小・中学生のアンケートでも一〇〇%に近い参加となっています。参加しないという例では、家族で町外に出でていたというものが、地域の老人クラブや婦人会などと協力して地域で花を世話する気風がつくれればと話し合われました。

部会では、各区単位で地域にあつた特色ある活動を、家族ぐるみで参加するよう進めていくたいと話し合われました。

また、小・中学生が活動後、書いた作文のなかで子どもたちが「美しい町、住みやすい町」とクリーン作戦に実際に参加して意識が高まってきたことも指摘され、大人が先頭に立って、子どもたちとともに作業するこ

すべての人が参加、地区ふれあい集会 『地区活動部会』

この活動は過去の調査から、住民の約半数が何らかの形で参加しており、小・中学生のアンケートでも一〇〇%に近い参加となっています。参加しないという例では、家族で町外に出でていたというもので、この活動の定着を示しています。

この重要性が認識されました。

【地区ふれあい集会】
これは昨年の地区教育懇談会の名称をあらためたもので、今年はとくに子どもたちも参加して、大人と一緒に話し合う場にすることが提案されました。また、地区の実情に合った日程で、話し合いも地区の特色を生かしていくこうという意見がだされ、実施は夏休み前までに各地区で行うこととしました。



五月二十八日、中央公民館で川辺町青少年育成町民会議（遠藤稔議長）が開かれました。

この会議は子どもたちを地域全体で育てていこうというもので、地域・家庭・学校の連携のなかで進められています。町民会議の組織・活動は広報かわべ五月号でふれました。ここでは、町民会議の各専門部会で話し合われた内容を紹介し、今後の活動方向を皆さんに知りたいと思います。

子どもは

集団活動で健全育成を

【青少年部会】

声をかけあい未然防止

スポーツ少年団と子ども会の指導者が主軸となるこの部会では、団体活動を通しての子どもたちの育成に話しが集中しました。それぞれの団体が、学校を含め連携し合い、団体の目的を達成していくことが重要で、そのため、日程の調整を今後も進めていくことになりました。また、リーダーの育成や、指導者の引き継ぎなどが話されました。



この部会では、最近の少年非行の実態についての学習会と、夏休みの校外指導、川辺おどりの巡回活動について話し合われました。とくに、非行への未然防止のため、各関係機関の横の連絡と、町民の皆さんのがいさからはじまる、声のかけあいの必要性が話されました。

子どもたちの成長を考える機会を

【教育福祉部会】

教育福祉部会では、子どもたちの社会体験や教育研修活動を主軸に話し合わされました。

【青少年主張大会】

青少年主張大会は毎年行われ、その主張内容も、年々充実していますが、聞き手の参加が少なく、どうしたら協力が得られるかが話し合いの中心になりました。

は、働く現場を見学することで労働を通じて社会人としての自覚を学ぶ場です。ここでは、見学の感想文の広報の仕方について話し合われました。

【立志のつどい】

中学二年生（十四歳）を中心とした主張大会に参加ができます。青少年主張大会は毎年行われ、その主張内容も、年々充実していますが、聞き手の参加が少なく、どうしたら協力が得られるかが話し合いの中心になりました。

改めて考える機会として考えています。これが国立乗鞍青年の家での宿泊研修です。

ここでは、青少年部会からも激励する代表を参加させることを設定し、親や大人たちが、子どもたちの健全な成長について



▲主張大会に参加を —— と教育福祉部会



【非行対策部会】

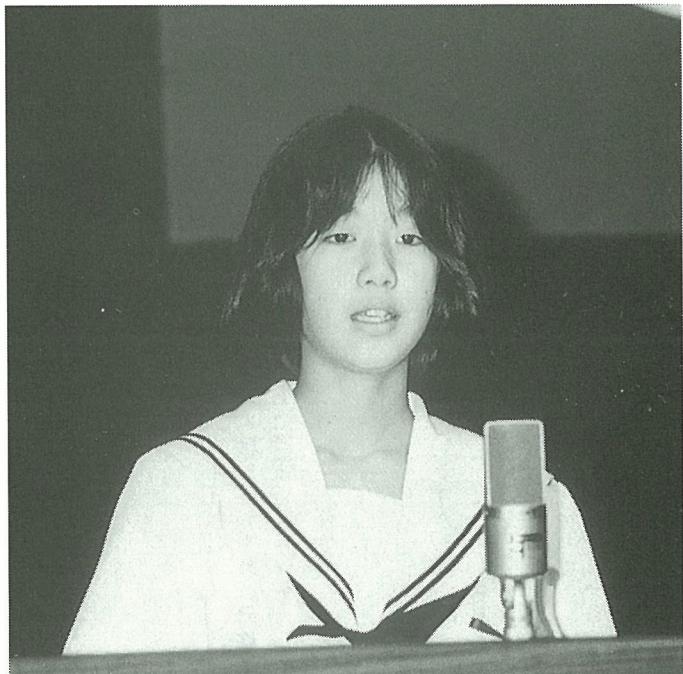
7月16日(日)は クリーン作戦の日

7月16日(日)はクリーン作戦清掃活動の日です。

各区単位で、様々な活動が進められます。家族そろって参加しましょう。具体的な方法は各区から提起されます。

時間 8時30分～10時30分

(町内全体の共通作業時間で、地区により違う場合があります)



▲6月25日青少年主張大会

次代を担う青少年が、非行や問題行動に走ることなく健やかに成長することは、親をはじめ社会全体の心からの願いです。

しかし、最近の青少年の非行は高い水準で推移しており、特に低年齢層の非行が依然高率であること、女子非行の増加、万引の多発など誠に憂慮すべき状態です。

このため、七月を「青少年を非行からまもる全国強調月間」と定め、町民会議をはじめ団体の皆さん、住民のかたがたが一体となり、青少年の非行防止に取り組むこととしていま

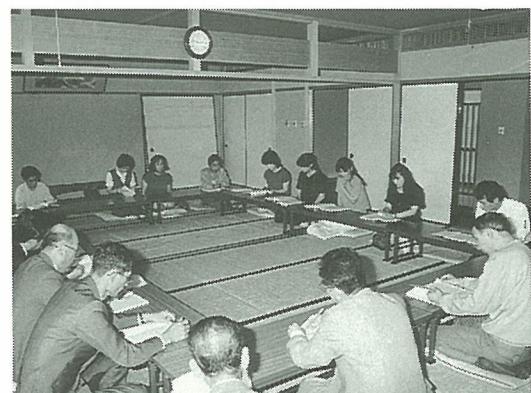
す。

川辺町では「青少年を 地域で守ろう 育てよう」のスローガンの下に、

- ◎青少年非行防止意識の高揚
- ◎青少年を取り巻く社会環境の浄化
- ◎地域ぐるみの青少年非行防止

を重点的に推進し、非行防止の徹底を図りました。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

7月は 「青少年を非行から まもる全国強調月間」です



▲まず 親が手本、家庭部会

町民会議の話題は、ふれあい集会が中心になつていました。この広報七月号が皆さんの中には、すでに集会を終えた地区もあると思います。ふれあい集会は地区のコミュニティーの場です。ですから、子どもたちの学校や、地域での姿を話し合うことも大切ですが地域のふれあい活動を考える場でもあります。老人クラブと子ども会の交流や、地域の盆踊り、清掃活動、伝統的な行事や、軽スポーツを家族ぐるみの参加で進めるなど、題材は身近にあるものです。話し合いのなかで具体的な行動提起に広がっていくことが大切に感じます。

〔家庭部会〕

親の姿を見て子どもは育つ

家庭部会では、家庭における基本的生活習慣をどう確立するか、また、親のあり方などについて話し合われました。親子のふれあいの場づくり、子どもの成長段階に合わせた親の対応の仕方など意見が出され、子どもたちは親の背中を見て育っていることを、親は考え方を直さなくてはいけないと話されました。

かわべのくらし

あいさつ運動

あいさつをかわして、元気に朝のラジオ体操に参加しよう。

☆地域ぐるみで、ラジオ体操に参加しよう。

8月20日(日曜日)は家庭の日

地域の人たちと力を合わせて、美しい環境づくりをしよう。
花壇、集合場所、通学路

せいそう活動

学校の運動場、花壇、地域の広場、遊び場を美しくしよう。
☆PTAの学校環境整備作業に親子で参加しよう。

低学年の頃は、何となくそぞじをやっていたけれど、今では長い間続いているそうじを、ぼくたちが続けていかなくてはいけないと

一番大変なのは、秋の落ち葉の頃です。いつもは三十分ぐらいで終わるけれど、この季節は一時間近くかかります。でも、その落ち葉で時々いもを焼いて食べる時は、がんばった後なのでとてもおいしくなりました。

ぼくたち下川辺上組は、近くの八幡神社のそうじを毎週日曜日七時半から行っています。いつごろからつと続けています。いつごろから始まつたのかおとうさんに聞いたら、「お父さんも子供の時にやついたんだよ。もう四十年くらい前に、遊び場所だったお宮をみんなできれいにしようと始めたのが最初で、それが今でも続いているんだよ。」と教えてくれました。

「おはようは、赤ペンキで書く目立つね」「大きく書くと、みんなに読みやすいね」と、あいにくの小雨の中でしたが、子どもたちの楽しい会話が聞こえできます。

これからも
がんばるよ

川辺西小五年
木下邦宏

川辺おどり
8月12日(土)
13日(日)

◆家族そろって
参加しましょう。

標語

おはようと今日もいえたよ元気なあいさつ

川辺西小4年村上和栄

だれにでも元気にあいさつわたしから

川辺西小1年松野明日香

川辺町道徳教育推進協議会連携推進部

PTAの会員、および全児童を対象に標語の募集を行いました。応募いただいた標語85点の中から35点を選び、あいさつ運動が家庭から、学校、地域へとより広く波及するように願いを込め、子どもたちと共に、六月十日看板を書き上げ、各分団の集合場所付近35か所に設置しました。

「おはとう」「おはよう、今日も元気にな」まずは、親から子どもと共に大きな声に笑顔を添え、誰にでも声をかけていきたいもので

あいさつは
心と心を
つなぐ橋

川辺西小母親委員会



ポストさん

インタビュー



シイタケ栽培の技術を学ぶため鹿塩の横田俊光さん(四五宅へ、オランダ・デビンター市出身のヘンリー・ポストさんは四月十一日、国際農業者交流協会の農業研修生として来町、約半年間滞在することになりました。この二ヶ月間、夜に日本語の勉強を続け、インタビューにも日本語でだいたい答えています。ポストさ

—ズバリ、川辺町の印象は、どうですか—
ポスト 私は自然が大好きです。

鹿塩は山が多くすばらしいところです。また川辺の人たちも親切で、なにかと気をまわしてくれます。

—シイタケの研究の動機は、

—どういふものですか—
ポスト オランダの大学に在学中にシイタケに興味を持ちました。

—日本へ研修に来ることに対する両親の考え方はどうでしたか—
ポスト 母は反対しました。父

は若いうちに勉強しようと賛成してくれました。

—ポストさんは二十三歳と非

常に若いわけですが、独身ですか、また結婚観のようなものが

ありましたら教えてください—
ポスト はい、独身です。オラ

ンダの宗教はカトリックとプロ

テスラントと半々ですが、若い

人々はあまり恋心がありません。ですからカトリックだから

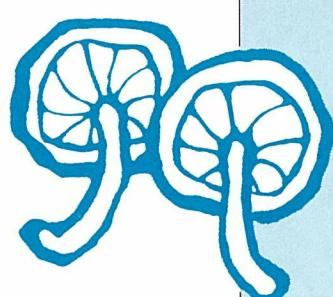
ポスト 納豆はダメ、好きなものはテンプラ、すしです。

—ありがとうございます。
これからも、研修や様々な活動に参加して、町内の皆さんと交

本では結婚というものが大切なものだということがよくわかり流していくください。—

かわべの国際交流 ② オランダからシイタケ留学

「欧洲に食べ方を広めたい」



がねらいです。栽培方法と食べ方が研究課題で、欧洲に食べ方を広めたいと思います。

—シイタケ研究のほかに、どのように興味を持つっていますか—
ポスト 日本の民俗や産業、観光です。

ます。なにか本人同志の問題と

いうよりも家との結びつきの

ような感じですね。その点オランダでは本人同志の気持ちが大切だという感じです。ですから

若い人の間では、好きな相手がいれば一緒になり、結婚の手続きは後からとか、子どもが生まれてからというのが一般的だと思います。

日本に来て、よく結婚のこと

で聞かれますが、どちらかとい

うと好きではないです。(笑い)

—そうでしたか、これはどうもすみませんでした。最後に好きな食べ物、嫌いな食べ物を教えてください—

ポスト 納豆はダメ、好きなものはテンプラ、すしです。

—ありがとうございました。
これからも、研修や様々な活動に参加して、町内の皆さんと交

修となつておらず、イングランドへ一年半実習に留学しました。外国の情報を知るなかでシイタケに興味を持ち、大学へ戻ったあと、日本の農業研修制度を知り、申請の需要が多いのです。シイタケを利用できないものかというの

で聞かれますが、どちらかとい

うと好きではないです。(笑い)

—そうでしたか、これはどうもすみませんでした。最後に好きな食べ物、嫌いな食べ物を教えてください—

ポスト 納豆はダメ、好きなものはテンプラ、すしです。

—ありがとうございました。
これからも、研修や様々な活動に参加して、町内の皆さんと交

ヘンリー・

「今はバドミントン。書道、水泳にも挑戦したい」

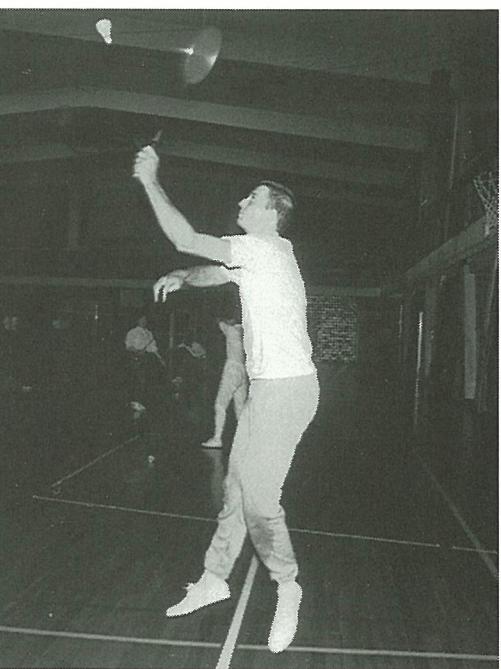
気さくな好青年という感じのポストさんでした。二十三歳としてはしっかりと考え方をしているという印象でした。

ポストさんは五か国語をマスターしているという秀才で、生活も地味。仕事ぶりも真面目のみ込みが早いと横田さんの話でした。毎日の生活は、朝七時ごろ起き、八時から午後の六時

▲オランダの兄が経営する17ヘクタールの農場の説明をするポストさん

今まで働き、夜は勉強という毎日。毎週金曜日の夜だけは中学校の体育館でバドミントンを楽しんでいます。五月二十八日に試合があり、初心者のコースで二位の成績だったそうです。

これからは、書道や水泳にも挑戦したいと考えているとのこと。八月には「マリンスポーツカーニバル」のボートの大会にファミリーチームで参加する予定とが、すっかり家族の一員となつたポストさんでした。



▲毎週金曜日のバドミントンが楽しみとか

ポストさんからのメッセージ

Hello!

I will be very happy if I can talk to you. Next time we meet, we will have a Japanese conversation. Is that O.K. to you?

See you soon
Henry.



▲優勝した第三分団二部Aの皆さん

広報かわべ

№240

(14)

第三回 二部 A 一年連続優勝

第十七回町消防操法大会結果

六月十一日、川辺中グラウン
ドで第十七回町消防操法大会が

開かれ、雨の中を団員ら約百八十人が参加しました。

町大会の結果
す。
(敬称略)

町大会の結果
す。
(敬称略)

りで
治、馬場啓司、山
口健司、後藤周平)

茂郡体育大会

第三十三回加茂郡体育大会が六月四日、川辺町を主会場として行われました。各種目で熱戦が繰り広げられ、暑く、また熱い一日となりました。

【三位】▽バレー・ボール（一般女子）△同（家庭婦人）▽ソフトボール（一般男子）△同（一般女子）▽卓球（一般男子）△同（一般女子）▽バスケットボール（一般男子）

優勝	第三分団	一部A	牧田
加津巳、肥田俊彦、肥田光重、下田毅才	【準優勝】	第四分団	
二部（村瀬昭長、小嶋正弘、佐伯淳一、村瀬和成）	【三位】	第一分団	
二分団二部A（坪内康景、井島豊治、奥村幸司、田原秀幸）	【四	二部	者）▽一番員）高橋幸男（第
位】第三分団三部（杉本茂明、山田利広、小森誠、山田義人）	四	山久（第二分団二	一分団二部A）、栗田浩巳（第二分団
	五	一部）堀江清二（第二分団二部C）▽二番員）遠藤雅丈（第二分団一部）	）▽一番員）山田浩巳（第二分団二部C）▽二番員）遠藤雅丈（第二分団一部）
【五位】第三分団一部（牧田辰	六	一部）堀江清二（第二分団二部C）▽二番員）遠藤雅丈（第二分団一部）	者）高橋幸男（第一

い 1 日 加

婦人) ▷ 軟式庭球 (一般男子、
同 (一般女子) ▷ バスケットボ
ール (一般女子) ▷ バドミント
ン (一般男子) 同 (一般女子)
【準優勝】 ▷ バレーボール (一
般男子) ▷ ソフトボール (壮年
男子) ▷ 軟式庭球 (成壮年)



清司（下麻生）▽同副部会長
田口義昌（上川辺）▽サービス
部会長＝吉田隆義（福島）▽同
副部会長＝山田文男（中川辺）

藤孝明（中川辺）▽建設部会部
会長＝加藤兼広（福島）▽同副
部会長＝佐伯敏充（下吉田）▽
製造部会部会長＝加藤英邦（比
久見）▽同副部会長＝堀井稔（中
川刃）▽小売部会部会長＝西村

このほど、岐阜県商工会連合会（堀嘉三会長）から、商工会役員として地域振興に尽力した功労が認められ、功労者表彰を

地域振興で功労者表彰

人シリーズ

走
る



天池米子さん(40)(中川辺)

商工會



△地団委員委員長・黒塚 坊
吉田) △同副委員長・佐伯正巳

川辺町広報モニター

の皆さん



加藤 忍さん

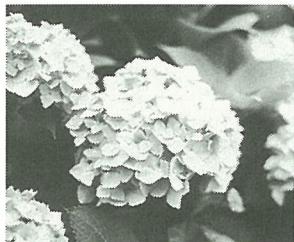
人シリーズは町内で様々な活動を行つてゐる人を対象に載せて います。"まつ

り” “創作” そして 今回は
“走る” をテーマに上げてみ
ました。来月は “おどり” を
テーマにしたいと思います。
ユニークな活動をしてい
る人、話題の人などありま
したらお知らせください。

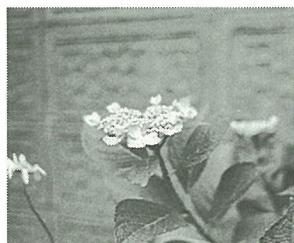
ジヨギングを始めたきっかけは、他の質問に「バレーボールをやつていて、体力の維持になると思って始めました」と笑顔で話していました。「雨の日と体育指導委員の会議、PTAのときなどは残念ながら走れません。走っていると季節のにおいがして楽しく、たまにはオシャレも

毎日夜八時から三十分ほど上川辺に向つて二一千メートル走り、帰りの「そういえば、半年前からお父さんも、会社まで自転車で行こうになりました。私の影響かしら」と、また笑顔がこぼれました。（町体育指導委員八年目の天池さんでした）

※アジサイの花・根は、
解熱効果があるといわ
れています。
(いざれも由川辺地内で)



▲アジサイの花が町内各地で咲いていました。
写真のアジサイは園芸品種



▲このアジサイの花の集
まりの外周に飾り花の
あるガクアジサイ。
アジサイの野生品種。

* まちかど

〈カメラの目〉

六月十九日、下麻生公民館へ県立図書館の移動図書館「ひばり号」が来ました。ここ数年、移動図書館事業はなかつたのですが、今年から再開。この日約二十人が本を借りました。借りた本は百十七冊、小説から絵本まで幅広いジャンルで貸し出していました。「こんなに近くまで来てくれるなんて嬉しいですね」と地元の声。中央公民館図書室の「貸出券」で借りれますよと県立図書館の職員が話していました。



▶ 下麻生公民館で

「ひばり号」で借りた本

117冊

川辺東小学校では、このほど近くの飲食店から、観察用にネコザメをいただきました。このネコザメ、今は体長50センチほどですが、成長すれば一メートルほどになり、歯も強く、貝類をかみ碎いて食べます。さつく水槽に入れ、ガラスでふたをして観察が始まりました。ネコの目にそつくりのその顔は、やはり不口のようにも見えます。子どもたちも珍しいこのサメに集まっていました。

ネコザメ観察（東小学校）



目を開いたままでね（海洋センターで）

第二保育園児

町内の各学校のプール開きがこのほど行われました。どの学校も、子どもたちは嬉しそうに、プールに入っています。保育園は海洋センターを利用し、プール遊びをしていました。

まず水に慣れることが大切と保母さん。年長の子どもたちは、どの子も水を恐れることなく、顔を水につけ元気よく遊んでいました。

町内の三保育園で「むし歯のない子に育てよう」と歯科衛生研究所の歯科衛生士による歯みがき指導が行われました。まずは、親の皆さんのが指導を受け、その後染出し液体を利用して親子はみがき教室が始まりました。

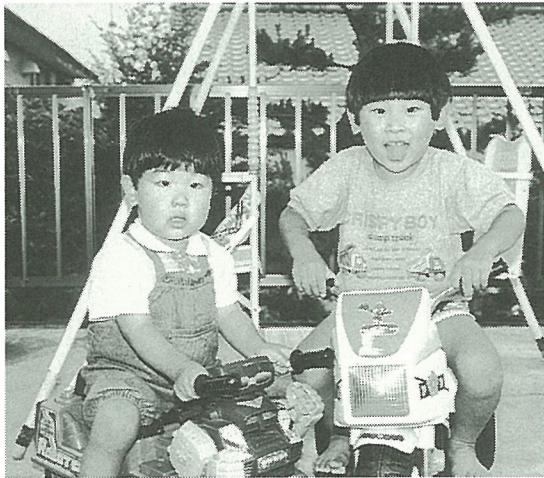
これは、子どもたちが歯をみがいたあと、親が仕上げをして

歯みがきの効果を見るもの、最後に歯科衛生士から一人一人アドバイスを受けました。



（上米田保育園で）

元気です



小森たつやくん(4歳4ヶ月)

じゅんきくん(1歳・9ヶ月)=福島

(幸男さん・美子さん 長男・二男)

**なすとみょうがの
こま酢和え**

【材料(四人分)】なす八個、みょうが二個、オクラ二本、いりごま六〇グラム、甘酢二分の
一カップ、強、塩少々。

【作り方】(1)なすはヘタを取つて縦半分に切り、熱湯に入れてしまがスッと通るようになるまでゆでる。(2)ゆで上がつたらザルに上げ、キッチンペーパーを敷いたまな板の上に

今月の 料理



岩井栄養士

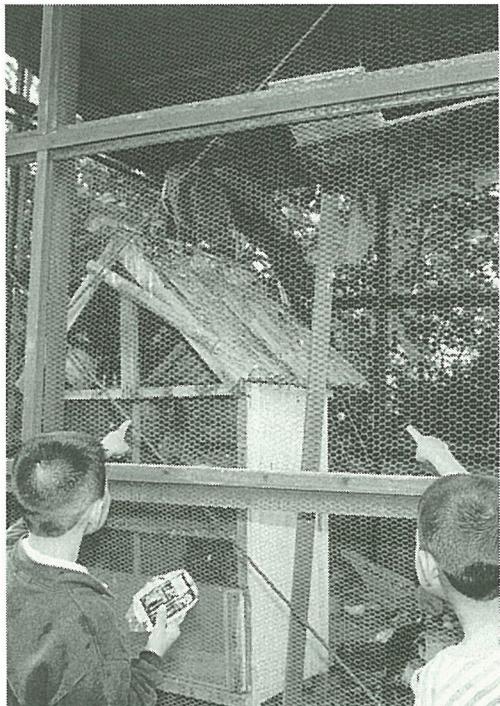
く切る。オクラはさつとゆで、(4)いりごまはすり鉢で粗めにすり、甘酢を加えてよく混ぜ合わせる。(5)(2)のな

すの水気が切れたら、一個ずつ手で縦に四~五つに裂く。これを(4)の和え衣に入れ、(3)のみょうがも加えて和える。味をみて塩で味をととのえる。器に盛り、(3)のオクラを上に散らす。(甘酢)みりん二ヵツを中火で半量になるまで煮詰め、火を止めぐに酢一カップ、塩小さじ二を加えて冷ます。

◆ なすは手で裂くのが、おいしく作るポイントです。

講堂の南側に新しい畜舎が完成し、それまで校下でお世話いたいた小動物が帰ってきました。その折、三羽の孔雀をいたいのに恐怖感を抱いてか、小屋から外へ連れ出して、室内の掃除をしたのが原因で、あつと言う間に青空めがけて飛び立つしました。そして講堂の大屋根から、大あわての捕り物陣を見下ろす始末、ご近所、職員あげての大騒動となりました。

「孔雀って飛ぶの?」殆んどの人が



▲これがその孔雀(西柄井)

の声でした。そうです孔雀は鳥でした。

兎の耳を持たず、抱きかかえ、つめで搔きむしられる子、餌一つを口へ入れてやり食べるまでじっと見ている子、野外の雑草

は毒と思って、食事の残りか袋詰めのみ餌と思っていた子と世話も大変です。体験が無いこそ、親から子への伝承の欠如がさせていることに思います。

(井戸)

六月十四日、第十回加茂郡老人クラブゲートボール大会

準優勝に西柄井チーム

人クラブゲートボ

ール大会(加茂郡

老人クラブ連合会

主催)が七宗町で

行われました。

この大会には郡

内の二十四チーム

が出場、川辺から

は四チームが参加

しました。

結果は準優勝に

川辺A(西柄井)、

四位に川辺D(上

川辺上)、六位に川

辺C(下麻生)の各



▲準優勝の川辺A(西柄井)チーム

子どもの心②

孔雀って飛ぶの?

加茂郡老人クラブゲートボール大会 準優勝に西柄井チーム

募集中

町職員を
募集します

町では来春採用予定の町

職員を次のとおり募集します。

▽募集人員 ◇一般事務職

員上級・初級若干名 ◇技術

職員 (土木) 上級・初級若

千名

▽応募資格 上級は大学卒

業程度、初級は高校卒業程

度の学力を有する者で、昭

和四十一年四月二日から昭

和四十七年四月一日までに

生まれた人

▽申込方法 八月一日から

役場総務課で交付する試験

申込書に必要事項を記入の

上、四十一円切手を貼付し

同課へ提出

▽申込期限 八月二十五日

(金)

▽試験日・場所 ◇一次試

験 (10月1日) 县立加茂高

等学校 ◇二次試験 (11月1日)

実施後に該當者に連絡

▽問い合わせ 役場総務課

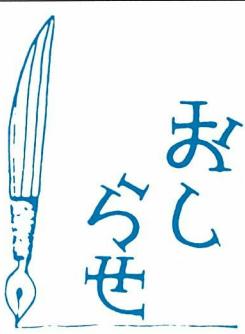
(○五七四一五三一二五
一内線二二〇、二二二) へ

交通安全家族会議
作文募集

総務課では、家庭や学校、

意が得られていること。
以上四項目すべてに適合してい
なければなりません。

④畠地転換等の施工について、
隣地の所有者及び耕作者の同
意が得られていること。
以上四項目すべてに適合してい
なければなりません。



さへきたけのり(5歳)=下麻生
(第2保育園)

★高額療養費支給基準等の改正について



国民健康保険法および川辺町
国民健康保険税条例の一部改正
により、次の点が改められました
たのでお知らせします。

▽国民健康保険税の賦課限度額
(一年間に支払う保険税の最高
限度) を現行の四十万円から四
十二万円に引き上げました。

▽高額療養費の自己負担限度額
(医療機関で支払う医療費等の
うち自己負担分の1か月の限度
額) を現行の五万四千円から五
万七千円に引き上げました。そ
のため現行では1か月に五万四
千円を超える分を高額療養費と
して被保険者に払い戻していま
したが、改正後は五万七千円を
超える分を高額療養費として払
い戻すことになりました。

★畠地転換等には届出を



水田から畠地への転換や畠の
盛土を行うなど、一般に言う畠
地転換等をする場合には、農地
管理の適正化を図る上から、ま
た農地法という法律で農地転用
許可制度との調整を行つたため、
町農業委員会で、「畠地転換等届
出」を提出するよう指導してい
ます。

また、この畠地転換等を行う
場合には、次のような色々な制
限があります。

▽試験日・場所 ◇一次試
験 (10月1日) 县立加茂高
等学校 ◇二次試験 (11月1日)
実施後に該當者に連絡

▽問い合わせ 役場総務課

(○五七四一五三一二五
一内線二二〇、二二二) へ

★実態調査



内線233、232)へ
員会(役場内、☎53-2511)へ

▽利 率 (元年六月一日現在)
設備資金十年以内
融資額 三千五百万円以内
融資期間 運転資金五年以内

出書を提出してください。

なお、詳細については農業委
員会(役場内、☎53-2511)へ
期、用土の採取場所、施工業
者などを明確にして着手前に農
業委員会へ所定の畠地転換等届
出書を提出してください。

畠地転換等の届出には、施工
業者などを明確にして着手前に農
業委員会へ所定の畠地転換等届
出書を提出してください。

★国民金融公庫

「夏季資金」のお知らせ

現在、国民金融公庫では「夏
季資金」を取り扱っています。

これは、中小企業の夏季にお

ける必要な資金を融資するとい

うものです。

それぞれ家計簿の記入などをお

願いすることとなつていています。

で、ご協力くださるようお願い

します。

★資金融資



▽問い合わせ 川辺町商工会ま
たは、国民金融公庫多治見支店
(☎0572-22-6341)へ

▽問い合わせ 川辺町商工会ま
たは、国民金融公庫多治見支店
(☎0572-22-6341)へ

★浄化槽



川辺町では、浄化槽の設置件
数が年々増えてきました。

この浄化槽の管理が不十分な
場合、隣近所の方に迷惑をかけ
たり、みぞや河川を汚し、生活
環境を阻害することになります。

そのようなことのないよう、
身者世帯については二か月間、
世帯を訪問して、二人以上の普
通世帯については三か月間、単
身者世帯については二か月間、
調査の方法は、調査員が調査
等が止むを得ないと認められ
ること。

地域などで交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどについて、作文を募集しています。

- ▽応募期限 九月二十日
- ▽応募区分 小・中の部および母親・一般の部
- ▽問い合わせ 役場総務課

次の浄化槽使用者の三つの義務を守り浄化槽を正しく管理しましょう。

- ▽保守点検 機能が正常に働くよう、点検、調整、修理を行うことです。二十人槽以下は、処理方式により年二回から四回以上必要です。
- ▽清掃 たまつた汚でいを定期的に清掃することです。年一回、全バッキ方式はおおむね六ヶ月

的に清掃することです。年一回、全バッキ方式はおおむね六ヶ月

ごとに一回以上必要です。

交通事故



ターやでは、交通事故のご相談に無料で応じています。

- ▽相談日 月曜日から金曜日、午前九時半から午後四時四十分まで、電話も可▽弁護士相談日毎月第二、第四、第五水曜日、午後一時から四時まで▽場所岐阜市吉野町6-14、三井生命

- 岐阜駅前ビル七階 (0582-63-7001)

まで

- ▽法定検査 浄化槽の「健康診断」にあたるものです。指定検査機関が行い年一回必要です。
- ▽三つの義務ですが、各作業はできるだけ立ち合い、各記録は三

機関が行い年一回必要です。三つの義務ですが、各作業はできるだけ立ち合い、各記録は三

最近、事故の態様も複雑化しており、その解決などにお困りの方も多いことと思います。

岐阜自動車保険請求相談セン

ターやでは、交通事故のご相談に無料で応じています。

誰もが運動不足を嘆き、「そ

れたことがあります。

は、ぜひ歩いて来てください

る

ようにとお話しをしています。

よう

のうちいつかは」と思いながら、気がついたら成人病。そんなことにならないうちに家族みんなで運動習慣を身につけましょう。

毎朝、コースを決め歩いておられるBさん。血圧が高く治療中ですが、お医者さんへ受診の際の参考とするためにおられるCさん。血圧が高く治療中ですが、お医者さんへ

日々過ごされておられる方でDさん。この方は数年前退職され、その後趣味などで毎日を過ごされておられます。

日々血圧測定に来院されます。現在のところ血圧値の変動はないものの万歩計をみると五〇～六〇〇というところ、もう少し不甘ばりましょうと

お聞きすると人様々です。

保健婦だより



私は毎日一万歩を目標にしているといわれるAさん。きっかけは尿糖が出たこと。血糖値も高く、食事のコントロールとともに運動、すなわち歩くことから始めたのです。今ではすっかり一万歩実行も定着し、いつもにこやかに私たちに話しかれます。もちろん定期健康診断は欠かさ

れました。「何歩歩かれましたか」とお聞きすると人様々です。たところです。

尿に糖が必ずといっていいほど出で、血糖値もやや高め、治療の段階まではいかなくてよいというCさん。最近万歩計を身につけられるようになりました。職業上、車を利用されることが多いのでその日によって歩数はまちまち。よう。

(佐伯)

毎日いい汗かこう

まず歩くことから

お話しをしています。

ところでも一万歩ってどのくらいなのでしょうか。これをこなすのはけっこう大変。主婦が一日ふつうに家の中での事をして三千歩。歩いて一回の買い物の往復が約二千歩。

気力でからだを起きあがらせ、まず、外に出て歩きましょう。

（佐伯）

保健センターへ来られる時

石 神 石 神 奥村 奥村

八百津町 兼山町 野邑 真弓

上川辺 野邑 真弓

下麻生 木下 友 康

福島 加藤 純也 和重 久夫 長男

比久見 村上 里香 聰美 勝美 長女

中川辺 福田 大騎 隆夫 長男

西柄井 佐伯 淳子 勝利 長女

中川辺 伊藤 梅美 黒田久美子

西柄井 鈴村 和也

中川辺 加藤 琢磨 長村ゆかり

中川辺 福井 朱美

中川辺 林 雅規

三重県 水谷 澄夫

岐阜市 吉野町6-14

三井生命

下飯田 山田 亮志 尚樹 二男 長男

鹿塩 井戸 康輔 英樹 長女

下川辺 座間 亮司 尚樹 二男 長男

下川辺 櫻井 康輔 英樹 長女

下川辺 佐伯 亮志 尚樹 二男 長男

下川辺 岩井 了 福井ヒロ子

中川辺 岩井 了 福井ヒロ子

下麻生 下麻生 下麻生 下麻生

中川辺 中川辺 中川辺 中川辺

鈴木サクエ

吉彦

■わたしたちの作品

明るい夜
今日は鵜舟も休んどる
青田
陽に艶研いで株太る
重い尻
後任首相返事せぬ
若葉
五月雨垣を染め上げる
骨折り
同窓会の顔揃う
美しい香り
天女の衣掛けである
若葉
樹林の酸素深う吸う
美しい香り
朝シャン済んで我れに酔ふ
月葉
山傾けて風渡る
若葉
影ひたくと付いて来る
月葉
蕨取り山賑わしい
若葉
傘屋の小僧叱られる
月葉
つ、じの丘に蜂群れる
所葉
新緑の風たちこめる街角を衣ひるがえし行く托鉢の僧



川辺の郷(村)名
美濃国にあつた郷(村)の名前を知るには、平安時代の承平五年(九三五)に編集された「倭名類聚鈔(わみよういじゆしよう)」によります。略して「和名抄(わみようしよう)」といつておりますが、日本で最も古い地名辞典で、それに載されています。全国のすべての郷名が記載され、加茂郡には十二の郷名がみられます。

「古代の川辺」

それは、川辺町・美濃加茂市、富加町の地域です。その郷名は次のようになっています。

加茂郡郷(村)名表

郷(村)名	読み方	市町名	地区名
川辺	カワベ	川辺町	上・中下川辺
生部	ミブ		下麻生
駅家	ウマヤ		比久見
米田	ヨネダ	下米田	
曰理	ワタリ	古井	
志麻	シマ		
オヤマ	ク		
牧野	ク		
山之上	ク		



そのほかに、武芸(武義)武儀(儀)郡に揖可(いぶか)郷があり、これは現在の美濃加茂市伊深にあります。この揖可(揖深)は、のうちに加茂郡に編入されました。このうち、川辺町にあつた川辺・駅家・生部・米田の各郷の由来は、次のようです。

川辺=別名、川の部とも呼ばれていた郷名。下川辺・西柄井・中川辺・石神・上川辺地区を包んで、駅家=うまや・えきや、生部=みぶ・いくべ、と呼ばれていたが、豪族生部氏の本拠地。現在の比久見・下吉田地区と考えられる。

米田=広範囲にわたった穀倉地で、上米田から下米田地域一帯。良質の米の産地に由来する。

(木下)

川辺の歴史

(11)

括していた。川べりの集落であつたことに由来。

広報雑記

△各地区、地域の話題、情報を寄せください。また元気です

のコーナー希望もお待ちしています。

△これから夏休みになります。

各地域で、子どもたちを中心

様々な活動が見られると思います。広報十一ページの、学校からのたより「川辺の子のくらし」の記事にある下川辺子ども会の長年続く活動、親から子へ伝えていく活動として清掃活動があげられています。ほのかな気持ちになられた方も多いと思います。